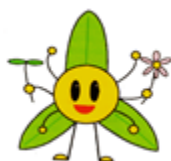


平成28年12月22日



柿の木

花と緑と思いやりひとみ輝く二小の子

▽思いやりのある子ども

▽進んで学ぶ子ども

▽力いっぱい活動する子ども

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710118>

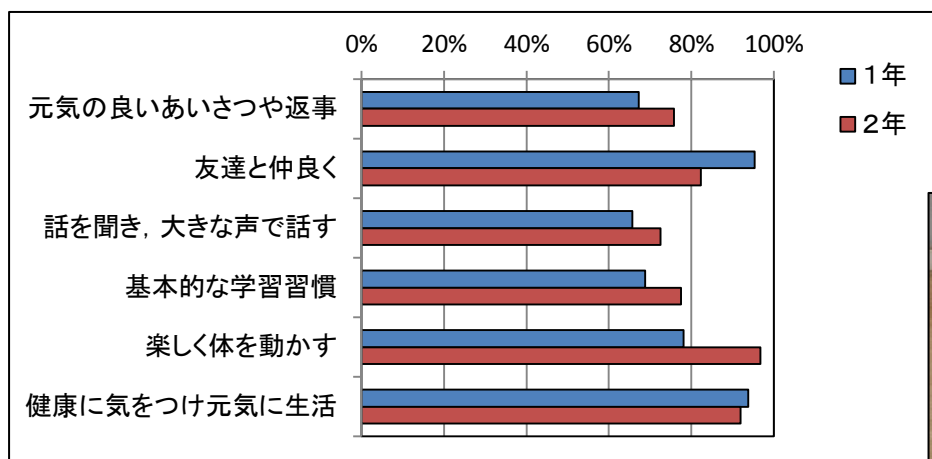
(ホームページからも「柿の木」がご覧いただけます。)

文責 齋藤 和代

2学期が終わって

1学期に引き続き、全校児童にも学校の教育目標から2学期を振り返ってもらいました。学校の教育目標は、①「思いやりのある子ども」②「進んで学ぶ子ども」③「力いっぱい活動する子ども」です。

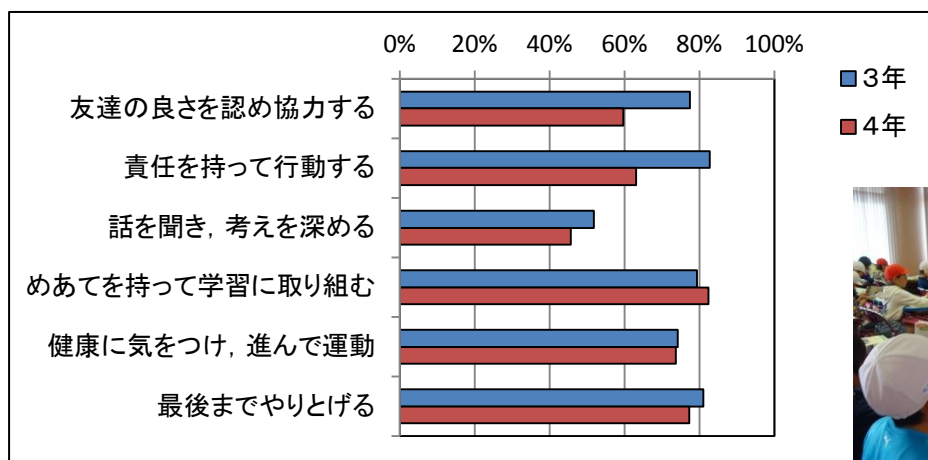
1・2年生の①「思いやりのある子ども」としてのめあては、「元気の良いあいさつや返事ができる」ことと、「友だちと仲良く過ごすことができる」です。②「進んで学ぶ子ども」については、「話を聞き、大きな声で話すことができる」ことと、「基本的な学習習慣ができていいる」ことです。③「力いっぱい活動する子ども」は、「楽しく体を動かすことができる」ことと、「健康に気をつけて生活できる」ことです。



全般的に、「良くできた」と回答する子どもが多いようです。特に、友だちと仲良く過ごすことや、健康に気をつけて元気に過ごすことや、楽しく体を動かすことが良くできたという子どもが多かったようです。1年生は、学校生活にも慣れてきて、新しい仲間と過ごすことの心地よさを感じているようです。

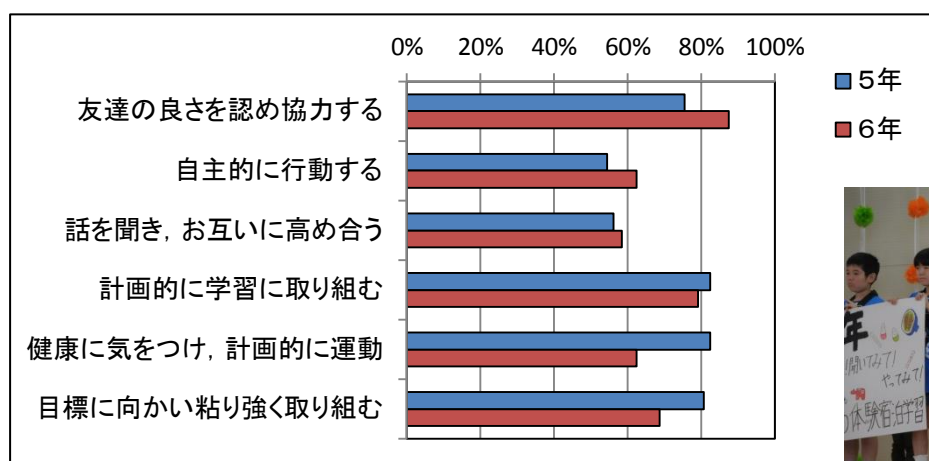
また、2学期は校内水泳大会や持久走大会で低学年は新記録をたくさん出し、運動に対する意欲も高まっているようです。

3・4年生の①「思いやりのある子ども」としてのめあては、「友だちの良さを認め、協力する」ことと、「責任を持って行動する」ことです。②「進んで学ぶ子ども」については、「話を聞き、考えを深める」ことと、「めあてを持って学習に取り組む」ことです。③「力いっぱい活動する子ども」は、「健康に気をつけ、進んで運動する」ことと、「最後までやり遂げる」ことです。



低学年ほどではありませんが、3・4年生の中学年も、「良くできた」という回答が多かったようです。真ん中にある「話を聞き、考えを深める」項目は、全体から見ると少なく見えますが、前回までの調査に比べると、かなり増えました。今まで、学習に対してあまり自己肯定感が高かったとは言えなかったのですが、2学期の様々な学びを通して、自信を持って意欲的に学習に取り組めるようになってきたように思えます。

5・6年生の①「思いやりのある子ども」としてのめあては、「友だちの良さを認め、協力すること」と「自主的に行動すること」です。②「進んで学ぶ子ども」については、「話を聞き、お互いに高め合うこと」と「計画的に学習に取り組むこと」です。③「力いっぱい活動する子ども」は、「健康に気をつけ、計画的に運動すること」と、「目標に向かって粘り強く取り組むこと」です。



2学期の高学年は、学校の中心となって様々な経験を積みました。一つ一つの行事に、先生方と子どもたちとで意義を確認し、積極的に関わり、子どもたちが自分の力として成長する姿が見られました。学年が上がるにつれて自己評価が下がる傾向が今までありましたが、そうではない傾向も見られるようになりました。今後も自信と意欲を持って過ごしてほしいと思います。

3学期も学年の締め括りの行事が多数あります。はっきりとした目的意識を持って参加し、それらを通してしっかりと成長してほしいと思っています。